

平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3710 URL <http://www.jorudan.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画室長(氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	970	△20.2	124	△4.0	137	0.7	106	—
25年9月期第1四半期	1,216	△1.6	129	△36.4	136	△34.0	△26	—

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 130百万円(—%) 25年9月期第1四半期 △14百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	20.44	—
25年9月期第1四半期	△5.03	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	4,605	3,728	80.3
25年9月期	4,596	3,677	78.6

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 3,700百万円 25年9月期 3,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,150	△5.7	260	3.6	250	△3.5	145	298.9	27.78
通期	4,350	0.9	530	11.6	510	14.8	300	13.8	57.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期1Q	5,255,000株	25年9月期	5,255,000株
② 期末自己株式数	26年9月期1Q	35,403株	25年9月期	35,403株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期1Q	5,219,597株	25年9月期1Q	5,219,597株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年10月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益の改善等を背景に景気が緩やかに回復しつつあり、投資の増加等により回復基調が続くことが期待される状況となっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は概ね横ばいとなっておりますが、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高は前年同四半期（平成24年10月1日～平成24年12月31日）と比べ増加傾向となっております。このような中、スマートフォンの更なる普及に加え、無線LANやモバイルデータ通信の高速規格の急速な普及等、モバイル情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応し、更なる事業展開に向けた基盤の確立に努めてまいりました。「乗換案内」の各種インターネットサービス（携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト・PCサイト）の検索回数は平成25年12月には月間約2億回となっております。また、当該サービスを日常的にご利用いただいている方（無料サービスを3ヶ月間に1回以上ご利用いただいた方及び有料会員の方の合計）は当第1四半期連結累計期間末には約1,000万人となっております。多くの方々に広くご利用いただいております。

このような環境の中で、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は970,645千円（前年同四半期比20.2%減）、営業利益は124,714千円（前年同四半期比4.0%減）、経常利益は137,111千円（前年同四半期比0.7%増）、四半期純利益が106,683千円（前年同四半期は26,274千円の損失）という経営成績となりました。

売上高につきましては、前年同四半期には損益を連結していた株式会社エクスプレス・コンテンツバンク（EXCB）が、前年同四半期末より連結の範囲から外れ持分法適用の関連会社となったことが、前年同四半期と比べた減少の主要因であります。営業利益につきましては、売上高の減少の一方で営業費用も削減できており、前年同四半期と比べ微減にとどまっております。経常利益につきましては、上記に加え持分法による投資利益の発生等があり前年同四半期並みとなりました。四半期純利益につきましては更に、一部の連結子会社において自己株式を取得したことによる負ののれん発生益の計上や、前年同四半期に発生していたのれん償却額が無くなったこと等があり、前年同四半期と比べ大きく増加し利益の計上に至っております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業における製品・サービス別の状況を踏まえた主な変動要因は以下の通りです。

モバイル向けの事業につきましては、スマートフォン向け有料サービスの売上高は増加したものの、全体としては前年同四半期と比べ売上高はやや減少いたしました。旅行関連事業に関しましては、前年同四半期には損益を連結していなかったイーツアー株式会社を前年同四半期末から連結の範囲に含めたこと等により、売上高は前年同四半期と比べ大きく増加しております。また、EXCBが連結の範囲から外れたことにより、モバイル向け・広告・法人向けの事業について同社分の売上高が減少しております。

以上の結果、乗換案内事業全体としては売上高927,596千円（前年同四半期比6.1%減）、営業利益223,995千円（前年同四半期比22.4%減）となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、EXCBが連結の範囲から外れた影響等により、全体として売上高は前年同四半期と比べ大きく減少しております。一方で、営業費用も大幅に削減できており、前年同四半期と比べ利益面では改善しております。

それらの結果、売上高10,939千円（前年同四半期比94.7%減）、営業損失21,757千円（前年同四半期は61,329千円の損失）となりました。

(その他)

受託ソフトウェア開発等において前連結会計年度から着手していた開発案件の完了等もあり、前年同四半期と比べた売上高は増加いたしました。それに伴い、損益につきましても、当第1四半期連結累計期間においては営業利益を計上しております。

以上の結果、売上高43,008千円（前年同四半期比42.9%増）、営業利益3,340千円（前年同四半期は9,056千円の損失）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、営業利益は、配賦不能営業費用及びセグメント間の内部取引による営業費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成25年9月末）と比較しますと、資産は9,709千円増の4,605,794千円、負債は40,775千円減の877,740千円、純資産は50,484千円増の3,728,053千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、7,842千円減の3,500,680千円となりました。これは、現金及び預金が94,283千円増の2,546,326千円となった一方で、受取手形及び売掛金が95,087千円減の463,532千円、繰延税金資産が42,333千円減の61,402千円となったこと等によるものです。現金及び預金が増加しているのは、受取手形及び売掛金の減少や四半期純利益の発生等によるものです。受取手形及び売掛金が減少しているのは、年末のため一部取引先において入金タイミングが通常月より早まったこと等によるものです。また、繰延税金資産の減少は賞与引当金や繰越欠損金の減少等によるものです。

固定資産につきましては、17,551千円増の1,105,113千円となりました。これは、有形固定資産が7,095千円減の240,468千円、無形固定資産が15,434千円減の277,110千円、投資その他の資産が40,081千円増の587,534千円となったことによるものです。有形固定資産及び無形固定資産が減少しているのは、償却が進んでいることによるものです。投資その他の資産が増加しているのは、投資有価証券が50,849千円増の361,755千円となったこと等によるものです。投資有価証券の増加は主に、関連会社株式について持分法による投資利益を計上したことや、その他有価証券について評価差額を計上したことによるものです。

負債は、流動負債につきましては、40,912千円減の867,951千円となりました。これは、賞与引当金が71,527千円減の21,728千円となったこと等の影響が、前受金が45,973千円増の491,548千円となったこと等の影響を上回ったことによるものです。賞与引当金が減少しているのは、主に賞与の支払によるものです。前受金が増加しているのは、未検収の大型案件において前受金が発生していること等によるものです。

固定負債につきましては、当第1四半期連結累計期間においては大きな動きが無く、137千円増の9,789千円となりました。

純資産は、株主資本が64,926千円増の3,664,302千円、その他の包括利益累計額が22,682千円増の36,417千円、少数株主持分が37,124千円減の27,333千円となりました。株主資本が増加しているのは、四半期純利益106,683千円が剰余金の配当41,756千円を上回った影響により、利益剰余金が64,926千円増の3,117,047千円となったことによるものです。その他の包括利益累計額が増加しているのは、主にその他有価証券評価差額金が15,530千円増の10,484千円となったことによるものです。少数株主持分が減少しているのは、主に一部の連結子会社において自己株式を取得したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,452,043	2,546,326
受取手形及び売掛金	558,619	463,532
商品及び製品	3,044	2,447
仕掛品	16,133	31,061
原材料及び貯蔵品	693	693
繰延税金資産	103,736	61,402
その他	384,485	405,049
貸倒引当金	△10,232	△9,832
流動資産合計	3,508,523	3,500,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,260	70,824
機械装置及び運搬具(純額)	2,218	2,000
工具、器具及び備品(純額)	91,254	82,278
土地	82,829	85,364
有形固定資産合計	247,563	240,468
無形固定資産		
のれん	17,632	16,653
ソフトウェア	272,414	255,494
その他	2,498	4,963
無形固定資産合計	292,545	277,110
投資その他の資産		
投資有価証券	310,906	361,755
敷金及び保証金	210,561	212,433
長期貸付金	—	5,940
長期滞留債権	3,500	3,480
長期預金	4,800	—
繰延税金資産	13,096	6,232
その他	7,922	6,946
貸倒引当金	△3,333	△9,254
投資その他の資産合計	547,453	587,534
固定資産合計	1,087,561	1,105,113
資産合計	4,596,085	4,605,794

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	205,512	199,435
未払費用	74,234	72,184
未払法人税等	7,121	17,677
未払消費税等	10,619	20,432
前受金	445,575	491,548
賞与引当金	93,300	21,728
役員賞与引当金	7,250	1,750
返品調整引当金	1,421	1,257
ポイント引当金	4,691	4,861
受注損失引当金	713	475
その他	58,425	36,601
流動負債合計	908,864	867,951
固定負債		
ポイント引当金	3,752	3,889
その他	5,900	5,900
固定負債合計	9,652	9,789
負債合計	918,516	877,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	287,290	287,290
利益剰余金	3,052,121	3,117,047
自己株式	△17,410	△17,410
株主資本合計	3,599,376	3,664,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,046	10,484
為替換算調整勘定	18,780	25,933
その他の包括利益累計額合計	13,734	36,417
少数株主持分	64,457	27,333
純資産合計	3,677,568	3,728,053
負債純資産合計	4,596,085	4,605,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,216,044	970,645
売上原価	566,312	505,617
売上総利益	649,731	465,027
返品調整引当金戻入額	1,470	1,421
返品調整引当金繰入額	1,273	1,257
差引売上総利益	649,928	465,191
販売費及び一般管理費	519,976	340,477
営業利益	129,952	124,714
営業外収益		
受取利息	354	56
受取配当金	1,185	700
持分法による投資利益	—	11,801
為替差益	2,510	4,708
助成金収入	1,800	—
雑収入	1,176	1,070
営業外収益合計	7,025	18,337
営業外費用		
支払利息	802	—
貸倒引当金繰入額	—	5,940
雑損失	5	0
営業外費用合計	808	5,940
経常利益	136,170	137,111
特別利益		
子会社株式売却益	22,576	—
負ののれん発生益	—	28,384
特別利益合計	22,576	28,384
特別損失		
固定資産除却損	1,350	—
のれん償却額	114,829	—
特別損失合計	116,179	—
税金等調整前四半期純利益	42,567	165,496
法人税等合計	66,903	58,052
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△24,336	107,443
少数株主利益	1,937	760
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26,274	106,683

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△24,336	107,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	973	15,530
為替換算調整勘定	8,869	7,152
その他の包括利益合計	9,842	22,682
四半期包括利益	△14,493	130,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,431	129,366
少数株主に係る四半期包括利益	1,937	760

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	987,940	207,538	1,195,479	20,564	—	1,216,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153	—	153	9,535	△9,688	—
計	988,093	207,538	1,195,632	30,100	△9,688	1,216,044
セグメント利益 又は損失(△)	288,644	△61,329	227,315	△9,056	△88,306	129,952

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△88,306千円には、のれん償却額△8,934千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△79,371千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間末において、株式会社エクスプレス・コンテンツバンクの株式を一部譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象による当第1四半期連結累計期間におけるのれんの減少額は、44,672千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	927,495	10,939	938,434	32,210	—	970,645
セグメント間の内部 売上高又は振替高	101	—	101	10,797	△10,898	—
計	927,596	10,939	938,536	43,008	△10,898	970,645
セグメント利益 又は損失(△)	223,995	△21,757	202,237	3,340	△80,864	124,714

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,864千円には、のれん償却額△979千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△79,884千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。